

世田谷ものづくり学校の実績等について

1 主旨

世田谷ものづくり学校は、平成 1 6 年度の開設以来、世田谷らしい新たな産業及び観光拠点の育成、創業に関する技術的な支援及び場の提供、ものづくり体験及び交流の場の提供などに取り組んでいる。

令和元年 7 月 3 0 日から令和 2 年 7 月 2 9 日までの事業の実績がまとまったので報告する。また、耐震改修工事の 1 年先送りにより、令和 3 年 5 月までであった現事業者との契約について内容を見直した上で、令和 4 年 5 月まで再契約する交渉を進めてきた。その契約内容についても併せて報告する。

2 活動実績等

新型コロナウイルス感染症による影響により、地域イベントが出来ず、施設の貸出しも中止していたことから、予定より歳出、歳入ともに減少している。

コロナ禍における取り組みとして、創業支援事業者に対し、弁護士、社会保険労務士、知的財産コンサルタント、クラウドファンディング事業者へ無料で相談できる事業を開始した。また、創業支援セミナーをオンラインに切り替えるなど、コロナの中においても創業に必要なノウハウを発信した。

(1) 創業に関する場の提供

①入居事業者の状況（令和 2 年 7 月 2 9 日現在）

事業者	入居可能数	入居数	入居条件
一般事業者オフィス	3 2	3 0	工業デザイン、映像、音楽、建築、などの「ものづくり」を行っている事業者
創業支援事業者オフィス	1 0	1 0	創業 5 年以内で従業員 3 名以内の事業者で、区内移転を計画している事業者
コワーキングスペース	2 6	2 6	区内創業予定又は創業 5 年未満で区内移転を計画している事業者
合計	6 8	6 6	—

②創業支援事業者の退去状況

種別	退去者数（うち区内創業者数）
創業支援事業者オフィス	4 人（2 人）
コワーキングスペース	7 人（3 人）

※退去者の主な事業内容⇒映像制作、web ビジネス、コンピューターソフトの開発等
※創業支援事業者の区外移転の理由は、事業拡大によるものや（千代田区、渋谷区）、事業収入減少に伴う費用削減のため、区外にある自宅をオフィス兼用とする等である。

③活動情報発信支援

入居事業者及び創業支援事業者、その他区内事業者に向けて、イベントなどの活動の場を提供するとともに、広報支援や活動協力を行い事業拡大につなげる取り組みを行った。

④入居事業者の交流

入居者サロンや入居者ランチミーティングを通じて、入居者間の交流を促進し、新たなビジネスチャンスをつくる機会を提供した。

(2) 創業に関する技術的な支援（講座やセミナーの実施等）

①創業支援講座

WEBサイト作成講座やVRエンジニア育成講座等、創業希望者が実際に必要とする情報や技術が学べる講座を開催した。

②創業支援セミナー

新たなビジネスや時代を先取りした取り組みを行う事業者を招きセミナーを行った。新型コロナウイルス感染症拡大以降は、オンラインに切り替え、講師はコロナ禍でも業績を伸ばす事業者や新たな取り組みを始めた事業者を招き配信した。

(3) 世田谷らしい産業・観光拠点の育成

項目	内容
ファブラボ世田谷を核としたラボ機能（試作場）の充実	総会員数は1,830名（昨年度比363名増）となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、医療業界で急速に不足したフェイスシールドを、主に区内の医療、行政関連の施設に無料で配付した。（510個）
区内事業者との交流促進	入居者である映像制作業者が区内のアクアリウム専門店と広告映像を共同制作するなど区内団体、事業者と連携、協業した（他30社の事例あり）。

(4) 新たなコミュニティづくりと地域の活性化への取り組み

項目	内容
地域コミュニティイベント	IID Kids WORKSHOP（来場者数1,610名） Craftie ワークショップイベント（来場者数112名）等開催
地域教育機関との連携・サポート	松沢小学校にてロボットプログラミングの夏休み向け出張ワークショップを開催した。

(5) ものづくり体験及び区民交流の場の提供

項目	内容
ものづくり体験教室	「スノードームづくりワークショップ」や「LEDオリジナル星飾りづくりワークショップ」を開催するなど、ものづくりをテーマにした区民参加型の体験教室を実施した。参加者同士の密接した作業を避けるため、従来の会場での実施から、遠隔でも参加可能なリモートスタイルを導入し、地方からの参加者も増加した。

(6) 区内創業・雇用創出の拡大

①区内創業・雇用創出

コワーキングスペースを拡充し、創業者数の増加につなげる取り組みを行った。

②世田谷若者就労支援センターとの連携

受入事業者数	就業体験受入	内容
14	57人 (延べ人数)	入居事業者による職場見学受入れ、仕事体験、仕事講話を実施した。また、入居事業者が若者サポートステーション利用者を採用した。

(7) 区内事業者及び区との連携

連携先	内容
(公財) 世田谷区産業振興公社、 (公社) 世田谷工業振興協会	(公社) 世田谷工業振興協会会員に向けて、「事業に役立つ！3Dものづくり活用講座」を実施し、無料で3Dデータを扱うための初級講座とデジタルものづくり機器を使った製造業界の事例発表を行った。また、コロナ禍での区内事業者支援として世田谷区及び(公財) 世田谷区産業振興公社が実施するとクラウドファンディング事業をWebサイトの掲載やSNSからの発信などを行った。

(8) 「世田谷ブランド」の普及・向上による産業の活性化

項目	内容
世田谷ブランドのサポート	「世田谷ものづくり企業探訪」をWebサイトに掲載し、「世田谷みやげ」掲載事業者の商品や世田谷という地域性を活かした事業を行う企業を紹介した。

3 収支実績及び施設賃料について

(株)ものづくり学校決算報告書 (R1. 8. 1-R2. 7. 31) より (千円)

収 入	施設管理運営	
	入居者賃借料	87,687
	入居者光熱水費負担金	5,129
	地域貢献活動イベント収入等	11,855
	前年繰越	0
	合 計	104,671
支 出	創業支援費	
	起業・創業の場の提供事業	2,731
	起業・創業技術支援事業	2,363
	世田谷らしい産業	
	新たな産業創出事業	13,465
	地域交流・地域活性化活動費	
	ものづくり体験・地域交流事業	5,352
	コミュニティづくりと地域活性化事業	8,494
	施設管理業務費	
	施設賃借料	12,048
	修繕、清掃・警備委託費	15,927
	光熱水費	8,357
	情報発信費	2,002
	備品消耗品、リース費、事務局アルバイト等	33,527
	合 計	104,266
収 支		405

(参考) 令和元年度区決算額

(千円)

歳入	合計	13,132
	施設賃借料	13,132
歳出	合計	1,531
	施設修繕費	221
	保守管理料	1,310
	空調・換気設備定期点検	112
	環境衛生業務委託	462
	自家用電気工作物定期点検	341
	消防設備保守点検	206
	建築物及び建築設備定期点検	108
	AED 賃貸借	81
	歳入－歳出	11,601

4 目標数値の設定について

今期(令和2年8月～令和3年度5月)から①区内創業数②創業支援講座(2(2)①)③創業支援セミナー(2(2)②)の開催数等の目標数値を設定する。また、新型コロナウイルス感染症の影響等、社会環境の変化に柔軟に対応し事業に取り組む。

目標数値 ①区内創業数:6社 ②創業支援講座開催数:40回 ③創業支援セミナー開催数:40回

創業支援退去者が区内で事業を継続することが出来ない理由や傾向などを分析し、今後の事業展開に反映するよう検討する。

5 令和3年6月から令和4年5月までの新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取り組み

(1) 新たな時代に対応するための起業、創業支援の強化

- ・専門家への個別相談サービスを実施する。(60件)
- ・デジタルものづくり機器を活用した新事業、創業・起業の機会提供をする。(48件)
- ・創業支援、事業拡大向けセミナー及び技術習得を目的とした講座を強化する。
(セミナー30回、講座70回)

(2) 区内事業者における事業転換及び多様な働き方を実現する拠点としての機能強化

- ・WEB サイト、SNS により、コロナ以降の様々な取り組みを紹介する。(120回)
- ・コワーキングスペースを拡張するなど、多様な働き方を促進し、オンライン活動が可能な環境を整備、提供する。(40席)

(3) 学びの機会が不足している子どもへの取り組みを充実させる

- ・子どもを対象としたしごと体験プログラムの実施や IT 技術習得の機会提供をする。
(体験プログラム24回、IT 技術習得の機会提供24回)
- ・区内小中学校と連携し、出張授業を行う。(5回)

(4) 就職活動支援

- ・就職活動支援としてオンライン面接の場の提供をする。(60回)

(5) その他

- ・せたがや産業創造プラットフォームやハンズオン支援事業等、区の施策にも連携、協力することとする。

通年の契約に上記取り組み及び目標数値を加えた内容と契約金額(月額110万円程度)を決定し、速やかに契約する。

参考資料: IID 世田谷ものづくり学校 令和元年8月から令和2年7月までの取り組み